記者発表資料
平成２８年１０月４日（火）
産業部水産課
担当：小川，熊谷（内線 513）

第八朝洋丸の早期解放に係る要請行動について

■菅原市長は４日，全国さんま棒受網漁業協同組合と外務省欧州局ロシア課を訪れ，９月１７日より国後島古釜布港に留め置かれているサンマ棒受け網漁船　第八朝洋丸（199 トン，北海道稚内市）の本船及び乗組員の早期解放について要望しました。

■同船には気仙沼市，南三陸町の市町民を含む日本人１７名が乗船しています。

■また，小野寺五典衆議院議員は既に外務省に対し，早期解放について強く申し入れをしています。

［参考］第八朝洋丸の抑留に関する報道情報

■第八朝洋丸は，根室市の南東約 180 キロ沖で操業を終えた９月１５日にロシア国境警備局の臨検を受け，その後漁獲物を詳しく調べるため，国後島古釜布港に連行され，同港に入港。

■９月２３日にロシア側は，混獲したサバが割り当て漁獲枠を超過し，操業記録への記載が無かったこと，漁獲の許可の無いイワシも確認されたことから，調査を続けていると発表。

■日ロ外交筋によると，乗組員全員の健康状態に問題はなく，日本政府は早期の解放をロシア側に要請。

■なお，当該船の船会社である丸美水産株式会社ではサンマ漁船２隻を所有し，
本市魚市場への平成２７年水揚げは，約８００トンです。